



お元気ですか
志村 たかよし です

第440号 2009年5月3日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

愚策！ 税金の無駄遣い！ オリンピック東京招致ムーブメント

IOC帰国でサッサと片づけられた「1千万円のフラワーポット」



楕円形内には花の咲くプランターが寄せ集められています。四角形内は、野ざらしのフラワーポットです。

咲き誇る花たちは、オリンピック

場所は晴海。

きれいなお花畑です。



多摩産間伐材で作ったフラワーポットはカラのまま

ク東京招致活動として、勝どき橋や晴海通りに1千万円をかけて設置されていたものです（下写真）。しかし、IOC（国際オリンピック委員会）が、4月17日に晴海などのオリンピック会場予定地を視察し、19日に帰国した翌20日、区はサッサと片つけてしまいました。いまは、晴海のオリンピックスタジアム予定地、清掃工場前のガードレールで囲まれた場所に、花と250基のフラワーポットが野ざらしにされています。



勝鬨橋に設置されたフラワーポット。今はもうありません

やっぱり、「IOC」のためのフラワーポットだった

私（志村）は、企画総務委員会で「区が設置の理由とした『オリンピック東京招致の気運を高めるため』というのであれば、招致が決まる10月まで設置するのが筋ではないか」「4月17日に視察するIOCのために1千万円かけて演出したことは明白。税金の無駄遣いだ」と批判しました。

今後の活用についてはまだ決まっ

（裏面に続きます）

ていません。

いつまで「野ざらし」のままなのでしょうか。

私は、この計画が示された委員会で「終了後の活用をはっきりさせなければ廃棄物になる」と批判していました。

党区議団が実施している「区民アンケート」では、オリンピック東京招致「賛成」が25%、「反対」は50%です（4000の途中集約）。

「税金は福祉や医療などに使って欲しい」という声が圧倒的です。区は、今年度も千数百万円かけたオリンピック招致活動を計画していますが、見直すべきです。



フラワーポットの丸太をつなぐ部分のボルトは、すでにサビていました。「環境に配慮」と間伐材を使っても、これでは長く使えず、廃棄されるのではと心配です。

国政でも都政でも悪政に正面对決 暮らしを守る共産党都議団の3つの値打ち



志位委員長長の演説を聴く会場いっぱいの参加者

4月27日、志位和夫委員長を招いた東京2区の演説会が、文京シビックホールで開かれ、中央区などから1800名が参加しました。

演説会は、勇壮な和太鼓で始まり、中島つかね衆院東京2区予定候補、中央区の桑名文彦都議予定候補、小竹ひろ子都議がそれぞれ挨拶したあと、志位委員長が話しました。

志位委員長は、まず国政の問

題で「自民か、民主か」の選択を迫るキャンペーンがうまくいかなくなっている指摘。麻生・

自公政権は、政治的なゆきづまりの中、党略をろうして延命を図ろうとしているとのべ、選挙目当ての給付金や、北朝鮮問題を利用した軍拡の動きを告発しました。

とくに核兵器の問題では、いかにして廃絶をはかるかが問われているときに「党略に利用するのは最低の政治です」と批判しました。

また、小沢・民主党も金権腐敗体質では自民党と同じだとのべ、西松建設の違法献金問題で説明責任を果たしていないことを批判しました。

志位委員長は「どちらも選びようがない」として、「元気」な日本共産党を伸ばして、「国

民が安心し、希望をもって暮らせる新しい日本と東京をつくる」と訴えました。

都議選について志位委員長は、「『オール与党』か、日本共産党か」この対決構図がわかりやすい。石原都知事と自公民の「オール与党」が二人三脚ですめた都民いじめ・巨大開発中心の「逆立ち」都政に、正面向対決し、都民の利益を守るために奮闘してきたのは日本共産党だけだと述べました。

そして、党都議団の「三つの値打ち」「三つの力」①東京の福祉、医療、教育を立て直す②都民の税金の無駄づかいを一扫する③都民の運動との共同で都政を動かす―をしめし「日本共産党を伸ばせば、もっと大きな力となってみなさんのための仕事ができる」と訴えました。